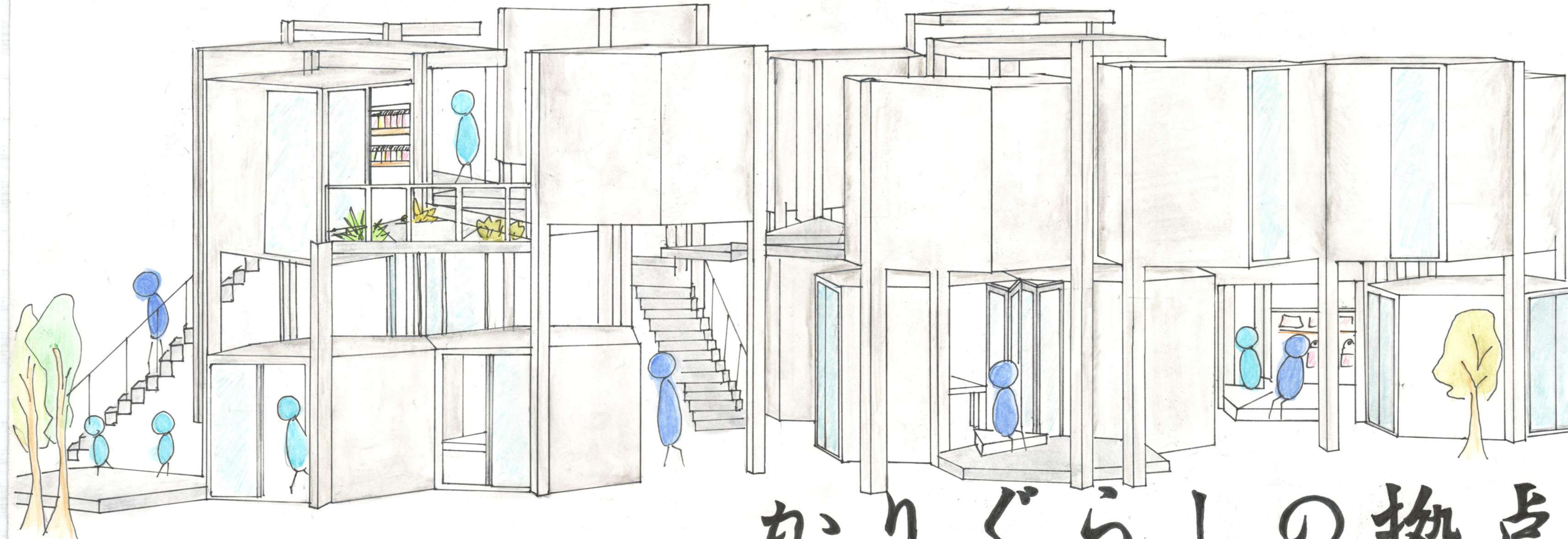




かりぐらしの拠点

【設計主旨】

この敷地は、2本の道が交わる場所に位置している。そこには、シエラハウスという既存の建物がある。この敷地は、シエラハウスの住人が、新しいコミュニティを形成するために、この敷地に新しい建物をつくることを目指している。新しい建物は、既存の建物とつながり、コミュニティの中心となる。新しい建物は、既存の建物とつながり、コミュニティの中心となる。

【設計概要】

敷地概要
敷地場所：広島県廿日市中佐方四丁目
用途：シエラハウス併用住宅
構造：鉄筋コンクリート造
階数：地上2階
敷地面積：517.65㎡
敷地面積率：60%以下
建築面積率：20%以下
道路：南側600 西側450

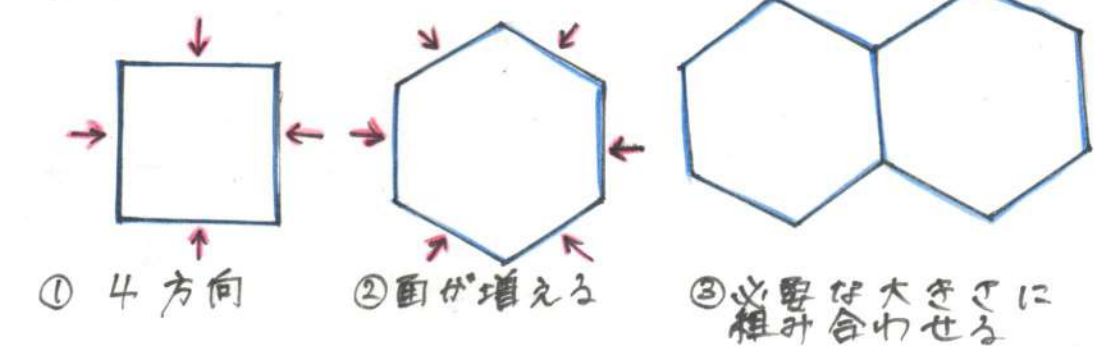
建築概要

用途：シエラハウス併用住宅
構造：鉄筋コンクリート造
階数：地上2階

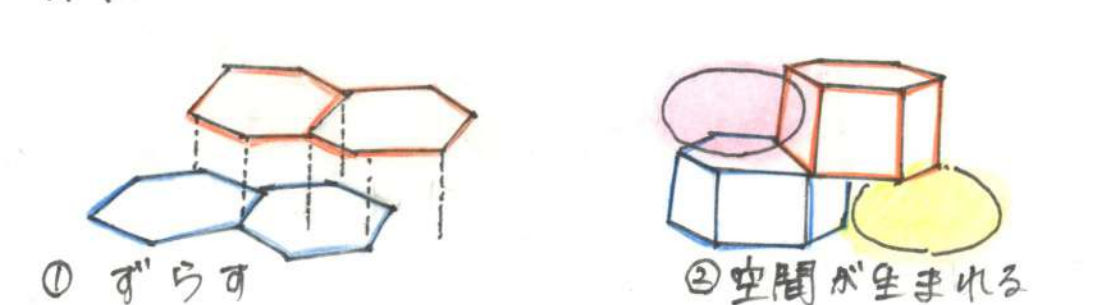
面積表
面積：103.9㎡
床面積：241.1㎡
延床面積：345.0㎡
延床面積率：276.5%
延床面積率：53%
延床面積率：66%

【地域の人を迎える】

操作1



操作2



【住人設定】

- 1 家族人
- 2 学生
- 3 社会人
- 4 学生
- 5 新社会人
- 6 学生

趣味

- 写真撮影
- 読書
- 映画鑑賞
- 料理
- スポーツ観戦
- 園芸

- 住宅
- 1 父
- 2 母
- 3 子ども (小学生)
- 4 子ども (中学生)



【コミュニティ】

地域の住人
長い時を経て コミュニティを形成する

シエラハウスの住人
短い時の中で 移り変わり コミュニティを形成する

地域の住人とシエラハウスの住人の
コミュニティは 脆弱なものになりやすい。

【日本の長屋文化】

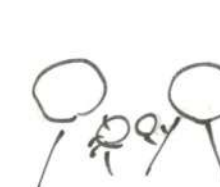
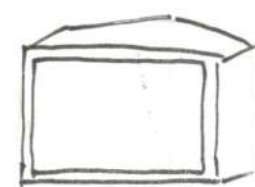
お蕎麦屋で近所の人からかりる。

おかえしに料理をおすそ分けする。

時代が進むにつれ、近所付き合いが薄れていき、この文化は消えていった。しかし、シエラハウスという住まいの出現によって、この文化がもう一度甦る。

【地域の住人とシエラハウスの住人のコミュニティを支える】

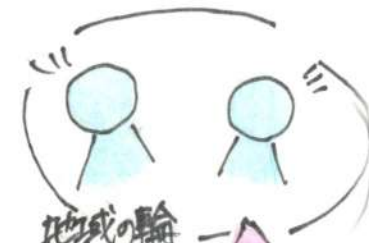
空間、道具、知識、助け
「かりる」「かえす」



【かりぐらし】



1. 地域の住人どうして「かりる」「かえす」行為が生まれる。
コミュニティの拠点がシエラハウスとなる。



2. シエラハウスの住人は、地域のコミュニティを見て知る。地域を知る・住人を知る。

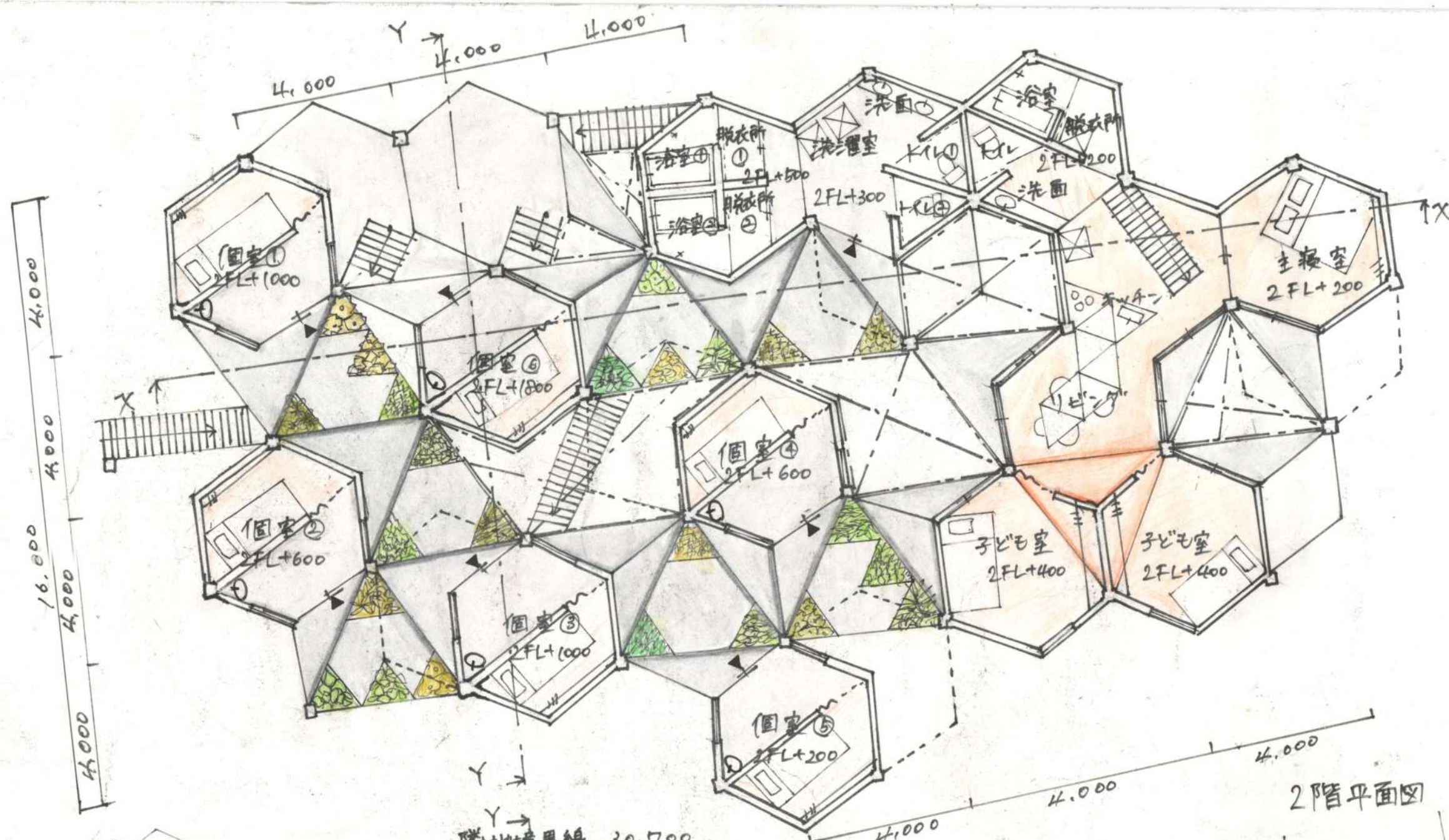


3. 地域の住人とシエラハウスの住人の間で「かりる」「かえす」行為が生まれる。

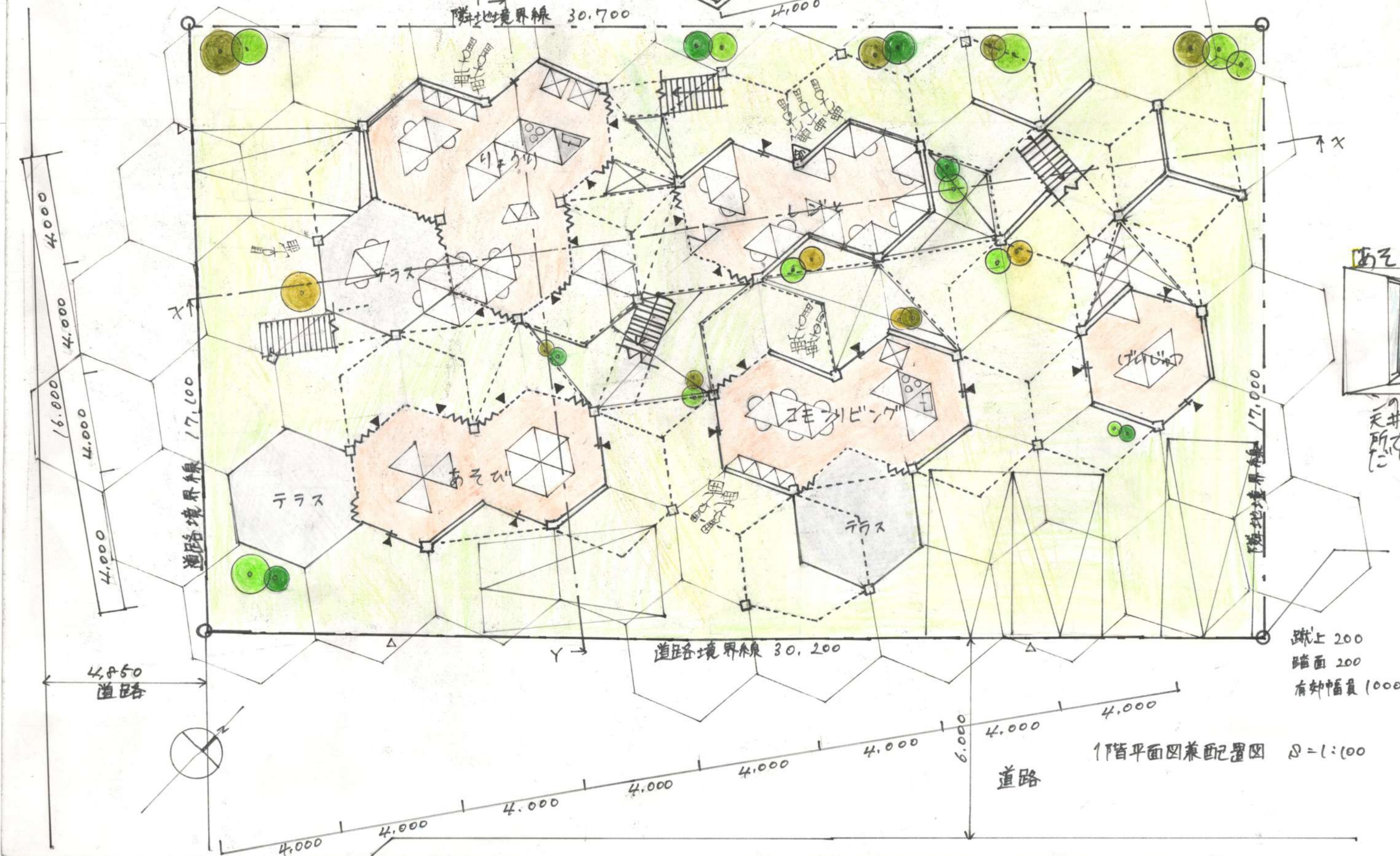


4つの基本要素から始まる。

コモンリビングから見える。

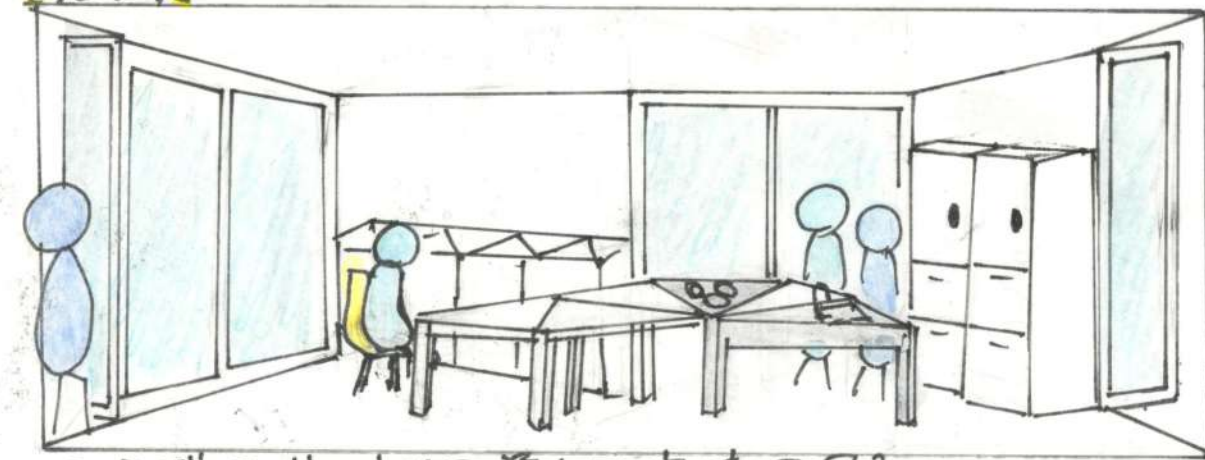


2階平面図 S=1:100

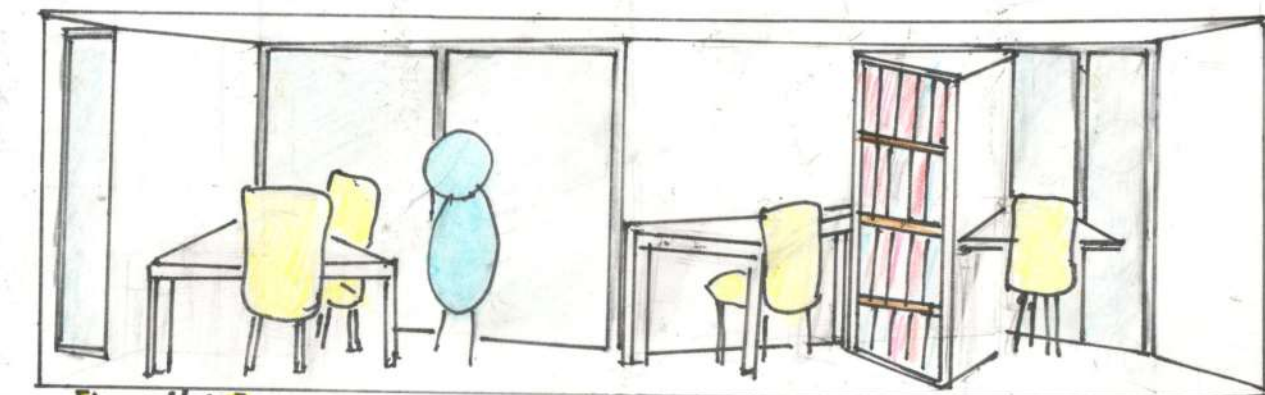


1階平面図兼配置図 S=1:100

【いふり】



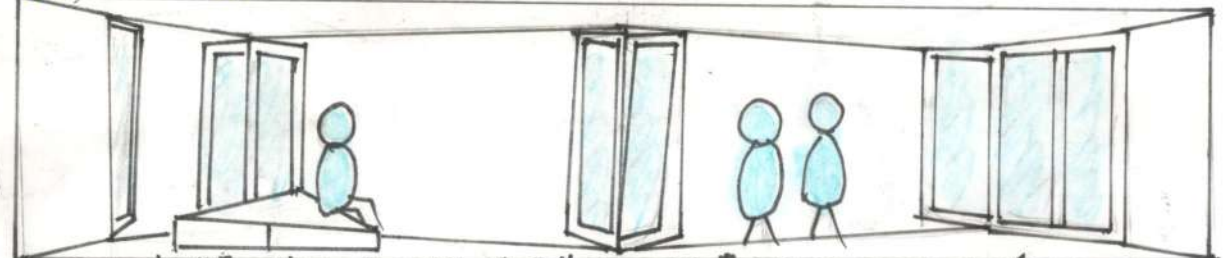
ここでは、いふりを通して交流をする。この空間では、料理の準備や食事の提供、そして、地域の人が集まる場所として機能する。また、近隣の住民が、この空間を利用して、自分の作品を展示したり、余った材料をもってきて地域の人と交流を楽しむことができる。



【しごと】

この空間では、仕事や勉強に取り組む。本屋が近くに、この空間では、使用がなくなった参考書や辞書、終わった本をここに持ちこて、本を交換する。また、1人で集中して取り組む空間と、複数で取り組む空間に分ける。自分の目的にあった空間を見つけることができる。

【あそび】



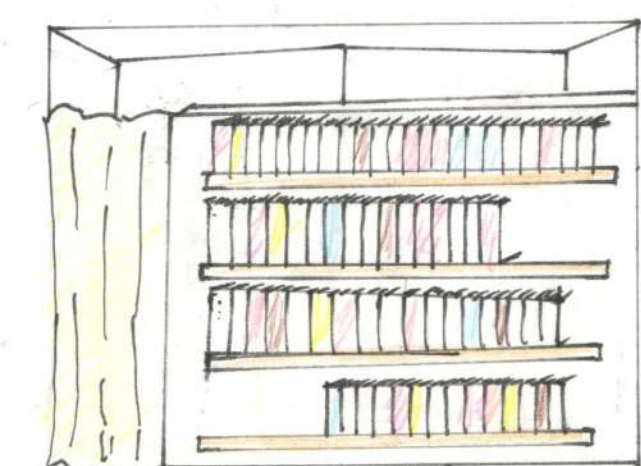
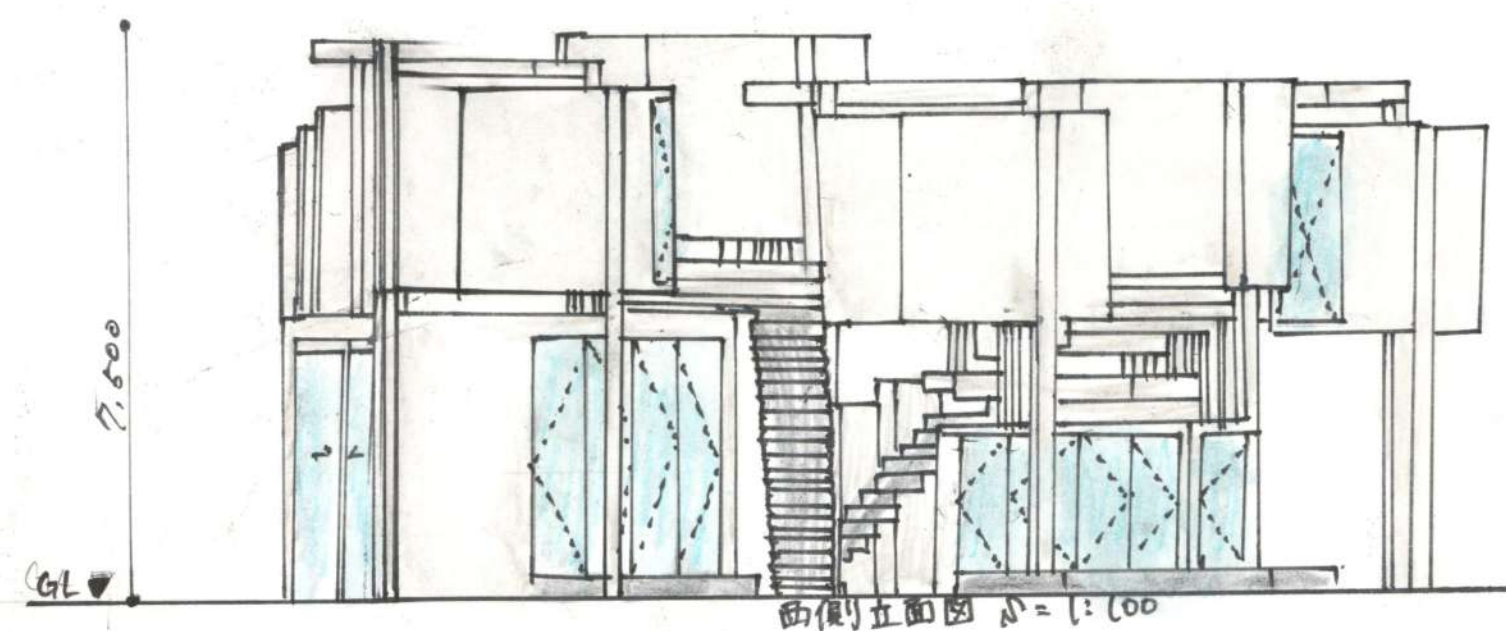
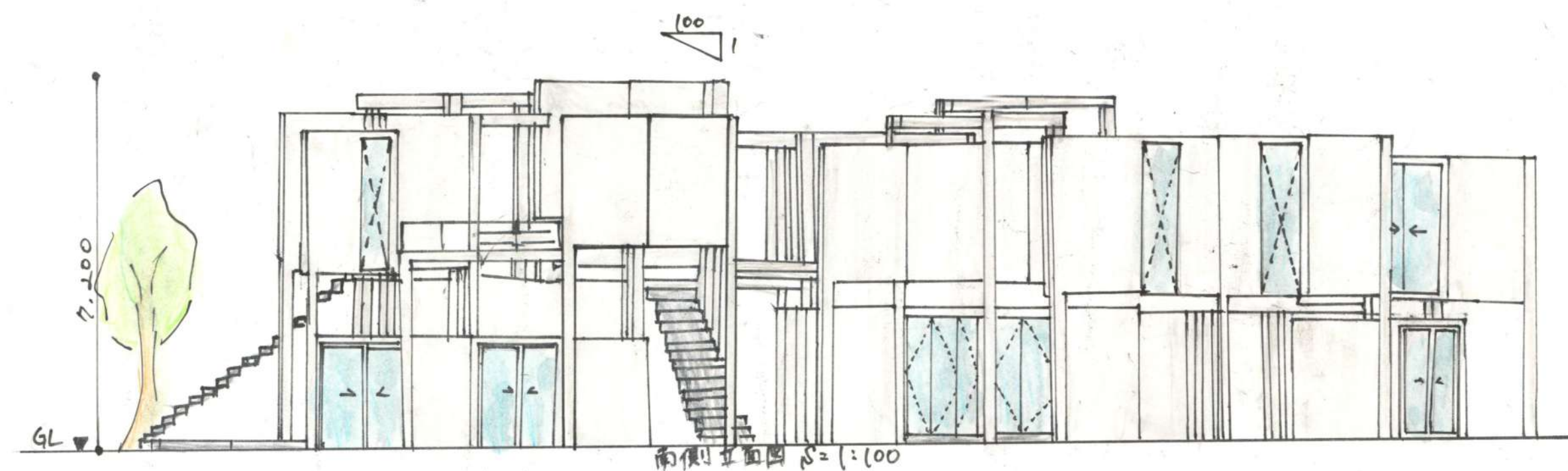
この空間では、子ども達だけの世界であそびを楽しむように、天井が高く、明るい。近隣の公園で遊ぶ子ども達、この場所へ集まったり、雨が降って外で遊ぶことができない日は、ここであそびたり、新しいあそび場として楽しむことができる。



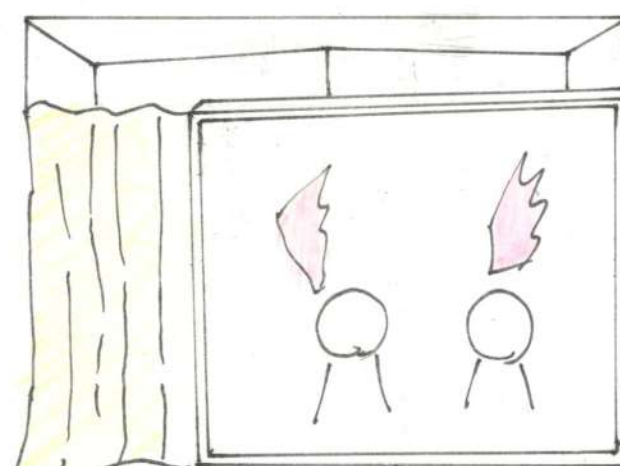
【げいじゅつ】

ここでは、芸術を通して交流ができる。道具をかりたり、芸術について話をしたりして楽しむ。また、近隣のアーティストが、この空間に自分の作品を展示したり、余った材料をもってきて地域の人と交流を楽しむ。

【4つの基本要素】



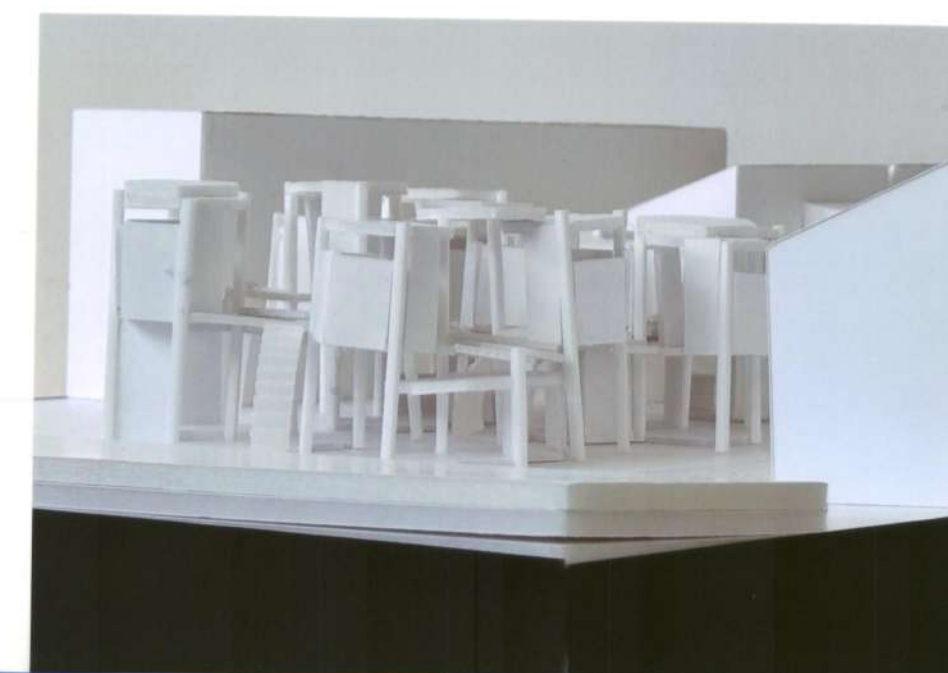
読書好きの人が暮らす個室に行けば、壁が本棚となっていて、自分の好きな本やそこにあった本を共有して楽しむ。



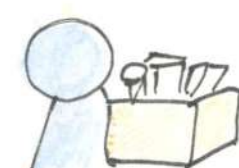
映画好きの人が暮らす個室に行けば、壁がスクリーンとなっていて、映画の観賞会を開いたり、感想を言いあって楽しむ。



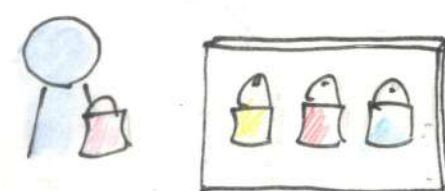
シェアハウスの住人がシェアするから、自分の要素を残す。この地域に定着したコミュニティーは、皆に新たな要素として残り続ける。



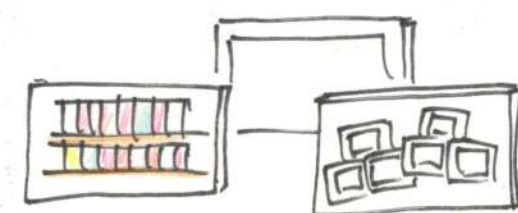
【新しいコミュニティーの拠点が生まれる】



ひっこしてくる



自分の要素を付け加える



それぞれの個室で要素が加わりシェアハウスが拡張される



ひっこしていく



要素は残り続ける

